



目次



Chapter

1 noteの基本を理解しよう

- 01-01 noteってどんなサービス? 14
- 01-02 noteでどんなことができる? 16

Chapter

2 noteを始めよう

- 02-01 新規会員の登録を行おう 20
- 02-02 ログインとログアウトを行おう 24
- 02-03 プロフィールを設定しよう 26
- 02-04 プロフィールアイコンを登録しよう 28
- 02-05 noteとSNSを連携させよう 30
- 02-06 ヘッダー画像を登録しよう 32
- Column* 画像の推奨サイズについて 34

Chapter

3 noteを読んでみよう

- 03-01 ほかのクリエイターの記事を読もう 36
- 03-02 記事に「スキ」を付けよう 38
- 03-03 SNSで記事をシェアしよう 40
- 03-04 記事にコメントを投稿しよう 42
- 03-05 投稿したコメントを編集・削除しよう 44
- 03-06 クリエイターをフォローしよう 46
- Column* 話題になっているnoteをチェックする 49
- 03-07 クレジットカード情報を登録しよう 50
- 03-08 有料記事を購入しよう 52
- 03-09 「サポート機能」や「オススメ」で
クリエイターを応援しよう 54
- Column* 記事を上手に検索する 56

Chapter

4 テキストの記事を投稿しよう

- 04-01 テキストを投稿しよう 58
- Column* 編集画面と公開画面のレイアウト 61

04-02	下書きを保存しよう	62
04-03	太字や見出しなどの書式を設定しよう	66
04-04	画像を挿入しよう	74
04-05	SNSなどの外部サービスを埋め込もう	76
<i>Column</i>	サービスを埋め込んだ時の見え方	77
04-06	印象的な見出し画像を設定しよう	78
04-07	見出しから目次を自動的に作成しよう	82
<i>Column</i>	noteに投稿できる記事の形式	84

Chapter

5 投稿をもっと楽しもう

05-01	つぶやきを投稿しよう	86
05-02	画像の記事を投稿しよう	88
<i>Column</i>	投稿の種類で、テキストと画像の 使い分けについて	91
05-03	音声の記事を投稿しよう	92
05-04	動画の投稿をしよう	94
05-05	記事のレイアウトを変更しよう	96
05-06	公開時の設定を行おう	98
05-07	お礼のメッセージを設定しよう	102

Chapter

6 マガジンを作ろう

06-01	「マガジン」機能とは?	106
06-02	新しいマガジンを作成しよう	108
06-03	マガジンへ記事を追加・削除しよう	112
06-04	マガジン内記事の並び順を変更しよう	116
06-05	マガジンを削除しよう	120
06-06	マガジンをフォローしよう	122

Chapter

7 noteをビジネスにつなげよう

07-01	noteをビジネスにつなげる方法は?	124
07-02	クリエイターのジャンル別に収益化を 考えよう	126
07-03	クリエイターページを確認しよう	128
07-04	「プロフィール」記事を設定しよう	130
07-05	固定表示の記事を設定しよう	132
<i>Column</i>	固定表示に適した記事	134

Chapter

8 noteを販売しよう

08-01	noteで販売できる記事・マガジンについて理解しよう	136
<i>Column</i>	<i>有料マガジンと定期購読マガジンの違い</i>	139
08-02	売上金を受け取る口座を設定しよう	140
08-03	noteを販売する際の手数料について理解しよう	142
<i>Column</i>	<i>売上金の預かり期限について</i>	143
08-04	有料記事を販売しよう	144
08-05	有料マガジンを販売しよう	146
08-06	定期購読マガジンを販売しよう	150
08-07	売上を確認しよう	154
08-08	売上を受け取ろう	156
08-09	購入者にお礼のメッセージを送ろう	158
08-10	返金の対応について理解しよう	160

Chapter

9 メンバーシップを運営しよう

09-01	メンバーシップについて知ろう	164
-------	----------------	-----

09-02	メンバーシップに参加してみよう	166
<i>Column</i>	<i>メンバーシップと定期購読マガジンの違い</i>	169
09-03	どのようなメンバーシップを開設するか考えよう	170
09-04	メンバーシップを開設しよう	172
09-05	メンバーを迎える準備をしよう	176
09-06	掲示板を準備しよう	180
09-07	特典記事を準備しよう	182
09-08	特典マガジンを準備しよう	186
09-09	外部サービスへの誘導を準備しよう	190
09-10	メンバーシップを公開しよう	192
<i>Column</i>	<i>メンバー加入前の人からの見え方</i>	194

Chapter

10 noteを通じて仕事の依頼を受けよう

10-01	仕事の依頼を受けるしくみを確認しよう	196
10-02	仕事依頼の記事を設定しよう	198
10-03	仕事依頼に書く内容を考えよう	200

10-04	仕事の依頼を意識して記事を書こう	202
Column	編集者は「仕事依頼」のココを見る	203
10-05	問い合わせの動線を作ろう	204
10-06	トラブルに気を付けよう	206
10-07	PR記事を書く際に気を付けよう	208

Chapter

11

noteを通じて 商品の販売につなげよう

11-01	商品を販売するしくみを理解しよう	210
11-02	noteをECサイトと連携させよう	212
11-03	note for shoppingで 商品を宣伝しよう	214
11-04	商品の販売につながる記事を 考えよう	216

Chapter

12

noteを多くの人に届けよう

12-01	多くの人に届ける方法について 考えよう	220
-------	------------------------	-----

12-02	アクセス状況を確認しよう	222
12-03	思わずクリックしたくなる記事を 考えよう	224
12-04	読みやすい記事を考えよう	230
12-05	クリエイター同士で交流しよう	234
12-06	お題やコンテストに投稿しよう	236
12-07	みんなのフォトギャラリーに 写真を提供しよう	238
12-08	ほかのクリエイターの記事を オススメしよう	242
12-09	SNSを使ってnoteを宣伝しよう	244

Chapter

13

有料プランを活用しよう

13-01	noteプレミアム（個人向け有料プラン）を 活用しよう	250
13-02	noteプレミアムに 入会しよう・解約しよう	252
13-03	プレミアム機能を使って投稿しよう	256
13-04	共同運営マガジンを作ろう	260
13-05	Amazonウィジェット、YouTube動画を 埋め込もう	264

13-06 note pro (法人向け有料プラン) を活用しよう 268

Column 公共・教育機関には note pro を無償提供 272

Chapter

14

もっとnoteを使いこなそう

14-01 スマホアプリでnoteを使おう 274

14-02 AIアシスタント機能を使おう 278

14-03 QRコードを作成しよう 282

14-04 領収書を発行しよう 284

14-05 noteの勉強会を活用しよう 288

14-06 noteの退会方法を知っておこう 290

01-01 noteってどんなサービス？



これから note を始めたい方へ、まずは note がどのようなサービスなのか特徴を紹介します。

note とは？

noteはクリエイターが文章による記事や画像、音声、動画などのコンテンツを自由に投稿できるメディアプラットフォームです。

「創作を楽しみ続ける ずっと発表し続ける」ことを大切にしており、PV数やフォロワーを多く集めることよりも、楽しんで創作を続けることを重視しています。



note の特徴は？

noteの大きな特徴は、誰でもかんたんにオリジナルコンテンツを公開・販売できることです。また、ほかのブログやSNSと比べたときに、次の特徴があります。

掲載できるメディアが幅広い

文字を主体にした記事のほか、写真やイラストなどの画像、音声、映像など、さまざまな形式のコンテンツを投稿することができます。

コンテンツを直接販売できる

最大の特徴は、クリエイターが自身のコンテンツを直接販売することができることです。これにより、クリエイターは自身の才能やスキルを生かして、収益を得ることができます。



広告がない

無料会員・有料会員にかかわらず、一切広告が表示されません。クリエイターのコンテンツ販売の手数料や有料プランの利用料をもとに、noteが運営されているからです。

ランキングがない

ブログサイトによくあるランキングもないので、ほかのクリエイターと比較することなく、楽しく制作が続けられます。一方、読者からの「スキ」や、編集部での記事のオススメなど、よい記事を書いたときにはフィードバックが得られます。

シンプルなエディタ

エディタが直感的に操作できるようになっています。飾り文字やページの装飾を変えることなどは基本的にできません。

一方、そうした装飾がないため、すっきりと読みやすいデザインで記事を届けることができます。



基本的に無料で利用可能

有料プランもありますが、基本的な機能は無料で利用できます。無料の場合でも広告表示もないため、ストレスなく利用できます。

勢いのあるメディアプラットフォーム

noteは、2023年4月にサービス開始から9周年を迎え、2022年には会員数が500万人を超えました。また、法人アカウントも2022年2月に10,000件を突破。規模や業種業態を問わず、さまざまな法人で活用されています。

今もっとも勢いのあるメディアプラットフォームの1つといえます。





まずは基本となるテキストの記事を作成して公開してみましょう。最初に、テキストを作成して公開するまでの基本的な流れを解説します。

テキストを編集する

1 「テキスト」をクリック

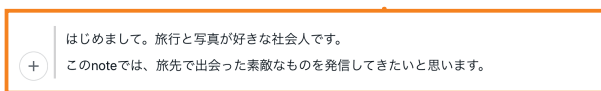
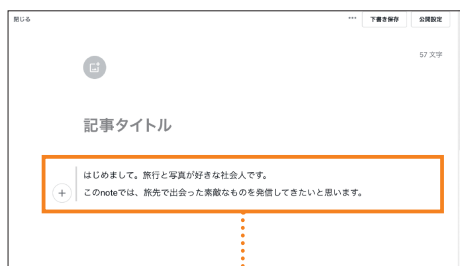
noteの画面右上にある「投稿」をクリックし(1)、表示されるメニューから「テキスト」をクリックします(2)。



2 本文を入力

テキスト編集画面が表示されます。カーソルが置かれている領域に文章を入力していきます(3)。

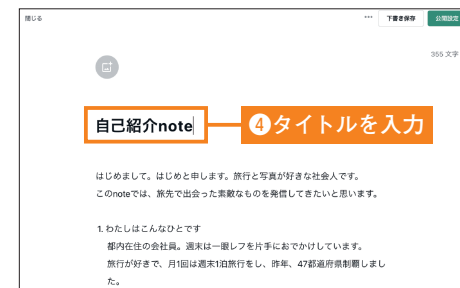
Enter キーを1回押すと改行ができます。**Enter** を2回押すと次の段落に移動します。




3 文章を入力

3 タイトルを入力

上部にある「記事タイトル」と表示されているスペースにタイトルを入力します(4)。



4 画像を選択

今回は、オリジナルの写真をアップロードする方法で説明します。タイトル上部にあるをクリックし(5)、表示されたメニューから「画像をアップロード」をクリックします(6)。なお、ほかの方法については04-06(P.78)で説明します。なお、見出し画像でnoteが公式に推奨するサイズは「1280px×670px」となっています。



5 画像をアップロード

画像フォルダが開くので、挿入する画像を選択し(7)、「開く」をクリックします(8)。



8 クリック

開く

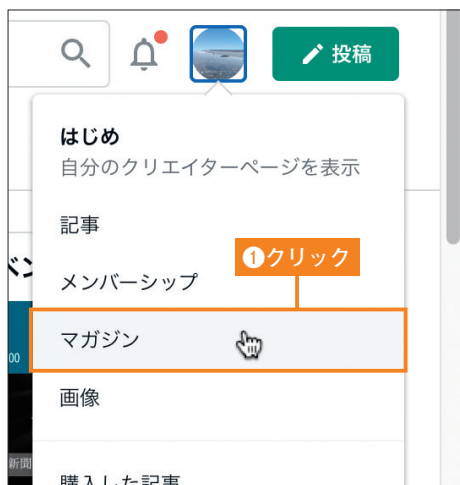


それではマガジンを作成してみましょう。まずは、記事をまとめるための器になる部分のタイトルや画像を設定します。

マガジンを作成する

1 「マガジン」をクリック

noteの画面右上にある自分のアイコンをクリックし、表示されるメニューから「マガジン」をクリックします(1)。



2 「マガジンを作る」をクリック

左上に表示される緑色の「マガジンを作る」をクリックします(2)。



3 マガジンの種類を選択

マガジンの詳細設定の画面に移動します。最初に、マガジンの種類を「無料」「有料(単体)」「有料(定期購読)」(P.107参照)から選択します(3)。今回は「無料マガジン」で解説します。



3 選択

4 マガジン画像を設定

マガジン一覧ページやSNSにシェアしたときに表示される画像を設定します。「マガジン画像」という文字の下部にある四角い枠をクリックして、写真をアップロードし、サイズなどを設定します(4)。



4 クリックして画像をアップロード

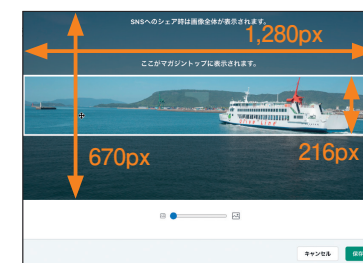
ワンポイント

マガジンに設定する写真のサイズ

登録する画像の推奨比率は1.91:1です。

	サイズ	内容
基本	1,280 × 670px	中央部分の216pxがクリエイターページ・マガジンで表示され、SNS等でシェアする際には画像全体が表示されます。
推奨	1,920 × 1006px	中央部分の324pxがクリエイターページ・マガジンで表示されます。

基本サイズの場合



07-01

noteをビジネスにつなげる方法は？



noteをビジネスにつなげるのにはどのような方法があるのでしょうか？ まずはnoteをビジネスにつなげる方法について紹介します。

noteを使って収益を得る方法は？

「ビジネスにつなげる」といっても、直接収益を得る方法から、広告として間接的に使う方法まで考えられます。こうした収益化につながる方法を大きく3つに分類し、活用できるnoteの機能と併せて紹介します。

(A) note内のコンテンツを有料販売する (→ Chapter 8, Chapter 9)

noteの大きな特徴として、自作のコンテンツを販売できる点があります。こうしたコンテンツを読者に販売することで、クリエイターは直接収入を得ることができます。コンテンツ販売によって収益化できるメニューとしては、次のものがあります。

● 有料記事

記事を単体で販売できます。

● 有料マガジン

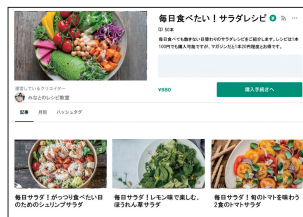
複数の記事をまとめ、本のようなイメージで販売できます。

● 定期購読マガジン

月単位のサブスク方式で記事を販売できます。

● メンバーシップ

月単位のサブスク方式で記事を販売できるのに加え、コミュニティを作成し、メンバーとの交流を図ることもできます。



レシピやノウハウをまとめた「有料マガジン」



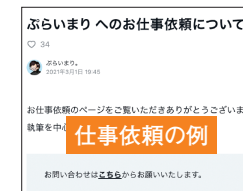
さまざまな特典を設定し、サブスク方式で運営できる「メンバーシップ」

(B) noteを通じて仕事の依頼を募る (→ Chapter 10)

小説やエッセイなどの文章、漫画、イラスト、写真、デザイン、音楽など、自分の作品をnote上で発信し、ポートフォリオのように活用することで、noteを通じて仕事の依頼を募ることができます。

noteでは、好きな記事を仕事依頼記事として設定することができます。仕事を募集していることを表明することで、クライアントも仕事を依頼しやすくなるでしょう。

noteでは、webサイト上に直接連絡先を公表しなくてもクライアントからの連絡を受けられるクリエイターへのお問い合わせという機能もあり、web上に連絡先を公開したくない方も安心です。



(C) noteを通じて自社の製品やサービスの販売につなげる (→ Chapter 11)

noteには物販の機能はありませんが、外部のECサイトと連携する機能があります。

● ストア

STORESやminne、BASEなどのプラットフォームと連携し、ECサイトで販売している商品を、自分のnote上で一覧表示することができます。

● note for shopping

noteの記事中に、ECサイトで販売している商品をカードとして埋め込むことができます。

また、noteを使って企業の広報を行う場合などに、noteを自社のオウンドメディアとして活用したり、noteのカスタマーサクセスチームによる運用サポートも受けたりすることができるnote proというサービスも提供されています。



「ストア」の例(「ストア」で作品の販売ページをリンクさせているアーティスト・藤本将綱さん)



「note for shopping」の表示例

08-01

note で販売できる記事・マガジンについて理解しよう



note では自作のコンテンツで読者から直接課金を受けることができます。まずは、どのような課金システムがあるのか、販売方法の違いを理解しましょう。

note で有料販売できるコンテンツ

07-01 (P.124) で紹介した通り、note で課金ができるメニューには、有料記事や有料マガジン、定期購読マガジン、メンバーシップがあります。この章では、有料記事と有料マガジン、定期購読マガジンについて解説します。

有料記事

note の記事を単体で販売できます。

記事全体を有料にすることもできますし、冒頭を「試し読み」として一部を無料で公開することもできます。

形式としては、つぶやき以外の、テキストや、画像、音声、動画の記事はどれも販売が可能です。



有料記事の例。任意の位置までを「試し読み」ゾーンに設定できます。

有料マガジン

複数の記事をまとめ、「書籍」や「雑誌」のようなイメージでコンテンツを販売できます。

こちらには、つぶやきを含むすべての記事を追加することが可能です。

なお、無料記事を有料マガジン内に入れると、有料マガジンを購入した人だけが読めるようになります。一方、有料記事を有料マガジンに入れた場合は、マガジンを購入した人が読むことも、マガジンを購入していない読者が記事ごとに単独で購入して読むことも可能になります。



有料マガジンの例。有料記事も無料記事もまとめて販売できます。

定期購読マガジン

月単位のサブスクリプション方式で記事を販売できます。

読者は、購読期間中にマガジンに追加された、無料記事と有料記事をすべて読むことができます。

このマガジンを運営するには、note プレミアムへの登録が必要です (P.252 参照)。また、運営事務局による審査もあり、クリエイターは、申請時に申請した回数、毎月記事を執筆・追加する必要があります。



作家・ジャーナリストの佐々木俊尚さんによる定期購読マガジンの例。記事を月額制で販売できます。

1人のクリエイターのnoteの中で、複数の販売方法を組み合わせることも可能です。販売方法ごとの制約も理解した上で、自分に合った販売方法がどのようなものか考えてみましょう。

10-01

仕事の依頼を受けるしくみを確認しよう



フリーランスや副業として仕事を募集したい際に、noteを活用することができます。まずは、どのような仕事考えられるのか、また、どのようなフローで仕事するのかを確認しましょう。

note を通じて依頼を受ける仕事の例

noteを使ってさまざまな仕事を受けることができますが、たとえば、次のケースが考えられます。あなたのやりたいことと照らし合わせ、イメージを固めましょう。

web サイトや書籍へのコンテンツ提供

たとえば、ライターや漫画家、または特定の分野に詳しい専門家として、ウェブサイトや書籍にコンテンツを提供します。小説やエッセイ、ビジネス書など、noteがもとになった書籍が毎月何冊も発売されています。



講演会やワークショップの講師

特定のテーマやスキルについての深い知識と経験を持つ専門家として、講演会やワークショップの講師の依頼を受けることも考えられます。



note での PR 記事作成

多くのフォロワーを持つ場合、PR記事の形式で、noteの中で第三者の依頼によって記事を書くことも考えられます。この際の注意事項は10-07(P.208)も参照してください。



note で仕事を受けるフロー

noteで仕事を募集して、仕事を受け、報酬を受け取るまでのフローを確認しましょう。

①「プロフィール」や「記事」で、できること・やりたいことを紹介する

まずは、「プロフィール記事」(07-04→P.130)や無料記事で、あなたができること・やりたいことを発信し、多くの人に見てもらいましょう。たとえば、小説家や漫画家などのクリエイターならば自身の作品をアップしたり、特定の分野の専門家ならばその分野についての記事やノウハウを発信したりしてみましょう。



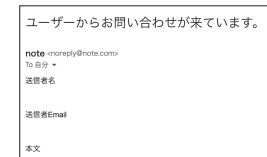
ある程度の頻度で更新を続けることも心がけましょう。

②「仕事依頼」記事で仕事を募る(10-02～10-03→P.198～P.201)

続いて、あなたが仕事を募集していることを読者に伝えるための記事を作成しましょう。noteでは、任意の記事を、仕事依頼の記事としてクリエイターページに表示ができます。

③クライアントから依頼を受ける(10-04→P.202)

仕事依頼の記事に記載したお問い合わせ先や、noteの「クリエイターへのお問い合わせ」機能を使ってクライアントから仕事の依頼を受けます。なお、このように仕事を受ける場合、noteへの仲介料やプラットフォーム使用料などはかかりません。



「クリエイターへのお問い合わせ」機能

④仕事を行い、クライアントから直接報酬を得る

以降は、メールなどを使って直接クライアントとやりとりします。業務内容に合意した上で仕事を遂行し、任意の方法で報酬を受け取りましょう。この段階ではnoteは関与せず、自己責任となります。トラブルに注意して(10-06→P.206)仕事を遂行していきましょう。

11-01

商品を販売するしくみを理解しよう



ハンドメイド作家や EC 事業者、小売店や飲食店なども、製品やサービスの販売に note を活用することができます。どのような事業者が活用できるのか、また、どういったフローで販売ができるのかを考えてみましょう。

note をきっかけに製品・サービス販売ができる職種の例

note を活用し、さまざまな商品の販売につなげることができます。たとえば、次のような職種での活用方法が考えられます。

ハンドメイド作家、クラフト作家

STORES や minne などのプラットフォームを note と連携させることができます。note 上でこれらのプラットフォームで販売している製品の一覧を表示しましょう。また、創作過程や大切にしていることを note の記事で発信することでファンを増やすこともできます。



デザイナー、イラストレーター

note for shopping の機能は、suzuri などのサービスと連携しているため、自身でデザインしたグッズを、note を経由して商品の販売につなげることができます。note の記事で作品を発表してファンを増やし、グッズの販売につなげるのもよいでしょう。



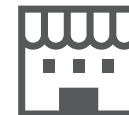
EC サイトのオーナー

EC サイトとの連携や、note for shopping によって、note を経由して商品の販売につなげることができます。note の記事で商品のストーリーを深く語れる点が魅力です。






小売店事業者

STORES や BASE などの EC サイトと連携し、オンラインでの商品販売につなげることができます。また、実店舗ならではの情報を note で発信することで、店舗への来客の促進につなげることも考えられます。



note で製品を販売するフロー

note で製品を販売するためのフローを理解しておきましょう。次ページからは具体的な操作について解説します。

順番	項目	内容	
①	外部のサービスで EC サイトを開設	STORES や minne、BASE などのプラットフォームで EC サイトを開設しましょう。note と連携できるプラットフォームについては、11-02 (P.213) で紹介しています。	
②	note と EC サイトを連携 → 11-02 (P.212)	一部の EC サイトは、note と連携し、自身のクリエイターページの「ストア」のタブに商品の一覧を表示することができます。	
③	プロフィールや記事で製品を紹介 → 11-03 ~ 11-04 (P.214 ~ P.218)	note を通じてお店や商品のことを知ってもらうために、プロフィールの記事 (07-04 → P.130) を設定します。また、新たなファンを増やすために、日頃から定期的に記事を更新していきましょう。	
④	外部サイトへ誘導し、商品を販売	note を経由して商品の販売行為が行われても、note に対しての手数料は発生しません。	